

農業用ため池の廃止要望に係る現地調査の結果について

本市では、農業水利施設に係る防災減災対策の 1 つとして、農業用水の利用がなくなった農業用ため池の廃止事業計画を立てるため、令和 3 年度に市内のため池を対象とした廃止の意向調査を行ったところ、当初 246 件の廃止要望がありました。

その後に追加要望があったことで、廃止要望数は 293 件となり、この度、令和 5 年度末をもって全件のため池調査が完了しましたので結果を報告するものです。

1 現地調査の結果について

本事業で実施する廃止工事については、ため池の決壊等による周辺地域への影響を把握し、人的被害のおそれのあるため池を対象とする必要があります。

このことから現地を調査した結果、廃止要望のあった 293 件のため池のうち、126 件について廃止工事の対象として判定しました。

地域別一覧表

地域	廃止要望数	調査の結果、 廃止工事に向かうもの
出雲	70 (19)	37 (15)
平田	138 (26)	50 (9)
佐田	31 (8)	13 (5)
多伎	14 (5)	6 (0)
湖陵	10 (2)	5 (1)
斐川	30 (6)	15 (5)
計	293 (66)	126 (35)

廃止工事(※2)の一例



()内は、防災重点農業用ため池の箇所数 (※1)

※1 廃止工事を予定している 126 件のため池のうち、国庫補助事業の採択要件である防災重点農業用ため池に指定されていない 91 件については、現在指定に向けた手続中です。

※2 ため池廃止工事は、ため池堤体の一部を V 字に開削することにより、ため池の貯留機能を廃止する工事です。

2 地元への報告について

廃止を要望されたため池のうち、令和 3 年度及び令和 4 年度の調査結果については、現地調査を実施した年度末、また、令和 5 年度の調査結果については、本年 3 月に地区土木委員長及びため池管理者に報告しました。

3 今後の計画について

人的被害のおそれのあるため池については、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法(令和 2 年法律第 56 号)」に基づき、市において優先度を勘案し、地元調整を図りながら計画的に廃止工事(※3)を実施していきます。

※3 活用事業：農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金(防災減災対策)【財源：国 10/10】